

分析ソフト「急騰予知Ⅱ」の操作方法

サンプルソフトは、機能が限定されていますので、銘柄抽出(検索)やデータの追加などのように使用できない機能もいくつかありますが、「急騰予知Ⅱ」の機能の概略は理解していただけると思います。以下、操作方法や各種の機能について説明します。

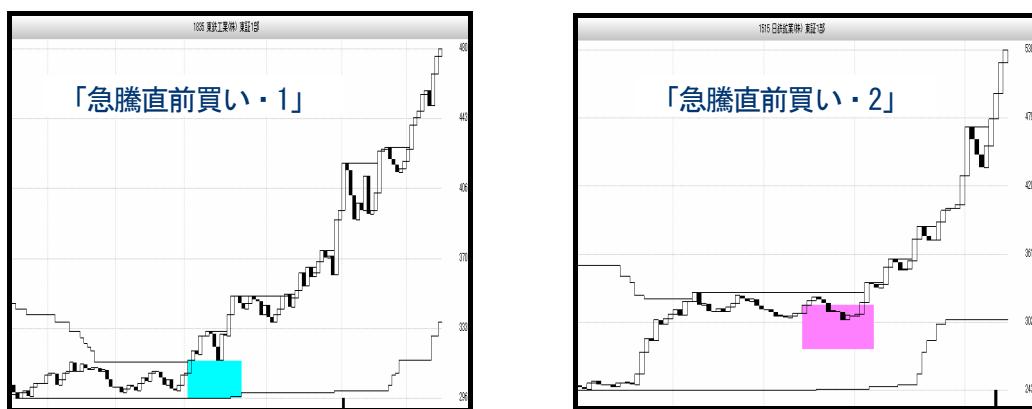
- ① <http://www.hadonet.net/kyutouyochi/sample/> にアクセスして「サンプルソフト」をダウンロード&インストールします。
⇒ デスクトップに「急騰予知Ⅱ デモ版」のアイコンが表示されます。
- ② 「急騰予知Ⅱ デモ版」のアイコンをダブルクリックすると、最初の銘柄「日経平均」のチャートが表示されます。
- ③ サンプルソフトでは、カーソルキーの↓を押すことによって、サンプル240銘柄を順番に見ることができます。例えば、最初の「日経平均」のチャートが表示された状態で↓を押せば、チャートは「TOPIX」に替わり、もう一度押せば下図の「住友石炭」に替わります。まず、初回は、この要領で最後の銘柄まで順番に見て下さい(↑のキーを押せば、一つ前の銘柄に戻ります)。



- ④ 表示銘柄の変更は、上図のマル印内の「表示(V)」をクリックし、次の項目の中の「市場別銘柄一覧(B)」を選択し、表示された銘柄名一覧から指定することもできます。
- ⑤ 画面には、上部に株価チャート、下部に指標、右側には各種の数値が表示されます。

- ⑥ マウスをチャート上で左右に動かせば、十字線の動きに連動して、それぞれの日の数 値が、画面右側の数値表示欄に表示されます。
- ⑦ 買いシグナルの目印としてチャート上に表示されたボックスが、水色の場合は「急騰直前買い・1」、赤色は「急騰直前買い・2」、緑色は「離脱買い」になります。

また、「大底逆張り買い」の場合は、合格日を示す赤色のタテ線と、買い水準の目印としての赤色の横線が表示されます。



- ⑧ 「数値表示欄」では、見出しを 1 回クリックするごとに、内容の表示/非表示が切り替わります。例えば、閉じている項目(見出しだけの項目)は、見出しをクリックすれば、内容が表示されます。
- ⑨ 「急騰予知 II」は、すべての銘柄のすべての局面を判定・予測するためのものではなく、「勝負銘柄」や「勝負局面」の発見を、最大の目的としています。従って、厳しい基準に合致しないために買いシグナルが出ない銘柄や局面も、当然あります。

(サンプル銘柄にも、いくつか例があります。)

[右クリックについて]

最初に初期設定のままで全銘柄を見ていただきましたので、今度は各種の機能について基本的なことを説明しましょう。まず、画面中央の「チャート表示欄」を右クリックすることによって、主に次のような要素の表示と非表示を切り替えることができます。

- 株価移動平均線の表示と非表示
- MラインやLラインの表示と非表示
- リバーラインの表示と非表示

なお、初期設定では、チャートが大引け陰陽足になっていますが、ローソク足に切り替えることもできます。その場合は、「チャート表示欄」を右クリックして、表示された項目の中から「リバーライン設定」を選択し、すべてのチェックをはずします。すると、リバーラインが消えると同時に、株価チャートはローソク足に切り替わります。

また、画面下方の「指標表示欄」を右クリックすることによって、「活性度」「騰落度」などの指標を切り替えることができます。

リバーラインのチェックを全部はずせば、下図のようにローソク足に切り替わりますが、表示日数が300日のままでは、チャートが細か過ぎます。



指標は、いずれも「急騰予知II」独自のもので、「M 講落度」「M, L 乖離度」「S 活性度」「M 活性度」になります。なお、Mは中期(Middle)、Lは長期(Long)、Sは短期(Short)を意味します。

[表示内容選択ワクについて]

「急騰予知Ⅱ」の画面では、「チャート表示欄」のすぐ上の位置に、いくつかのワクが並んでいます。そして、そのワクでは、左から順に次のような内容を選択します。

1. 銘柄選択ワク ……通常は、コード番号を入力して銘柄を切り替えますが、サンプルソフトでは↓で切り替えます。
2. 日・週・月選択ワク…「日足」「週足」「月足」を選択します。
3. 表示期間の選択ワク…チャートの最終日を選択することで、期間をズラして(過去に遡って)チャートを見る事ができます。
4. 表示日数の選択ワク…チャートの表示日数を選択することで、短期・中期・長期の各チャートに、表示を切り替える事ができます。
5. 分析条件の選択ワク…初期設定では、「標準型」になっていますが、独自の条件による「ユーザー定義」も設定できます。

なお、下図は、前頁の図の表示日数と表示期間に変更を加えたものです。

[表示内容選択ワク拡大図]



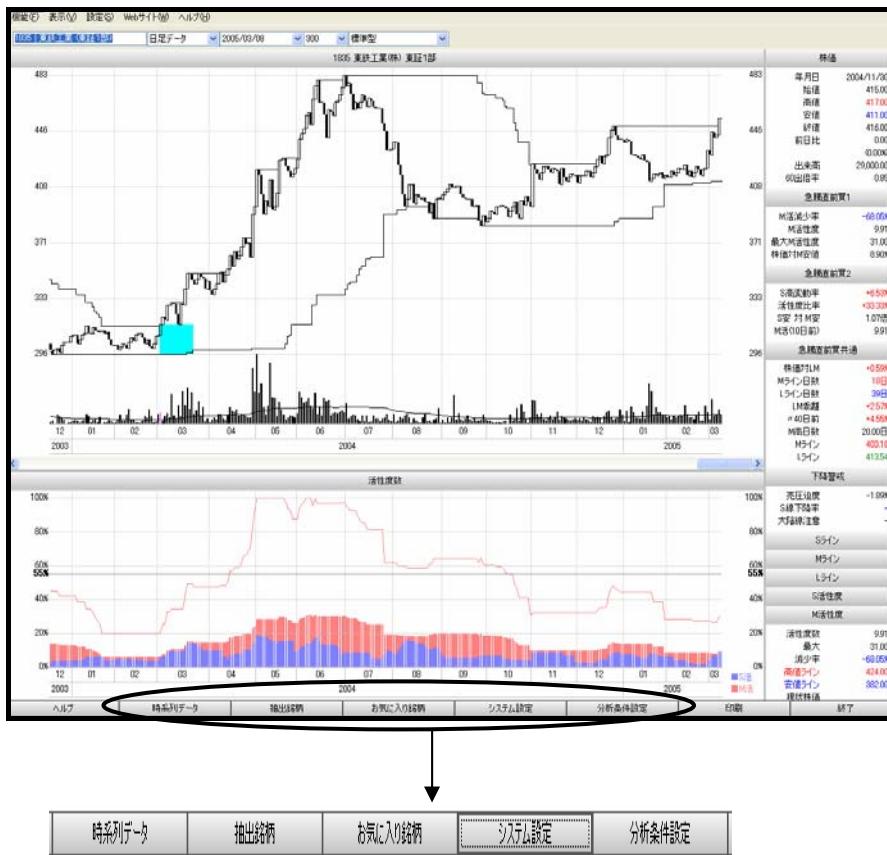
各種の機能を選択した後に表示銘柄を変更する場合は、左上の「銘柄選択ワク」の位置にマウスのポインター(矢印)を合わせ、ワク内が青色に反転した後に↓を押します。

〔 時系列データ・抽出銘柄・お気に入り銘柄・各種の設定について 〕

「急騰予知Ⅱ」の画面下部には、各種の便利な機能を利用するための項目が設置されています。以下、その中の重要な項目について説明していきます。

1. 時系列データ ……日付単位の株価や出来高を、数値で確認します。
2. 抽出銘柄 ……「標準型」による毎日の合格銘柄を自動的に表示するための機能です。なお、一定期間内の合格銘柄をまとめて抽出したい場合や、「ユーザー定義」による銘柄抽出は、画面左上の「機能(F)」で行います。
3. お気に入り銘柄 ……御自身が関心を持っている銘柄を登録します。
4. システム設定 ……様々な項目の色や日数などの条件を設定します。
5. 分析条件設定 ……「標準型」の分析条件の確認や、ご自分独自の条件設定と登録(ユーザー定義)を行います。

なお、その他の機能については、ヘルプを参照していただくことになります。



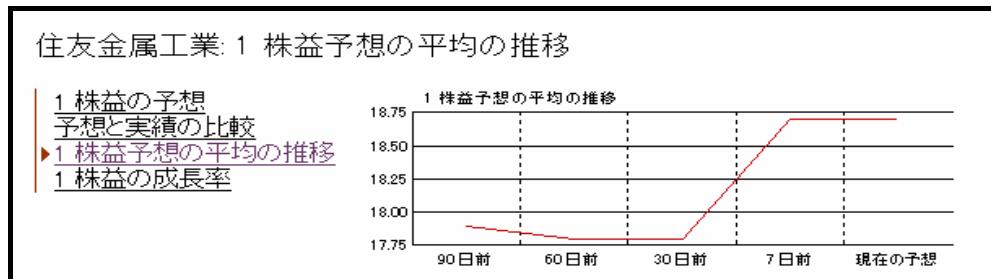
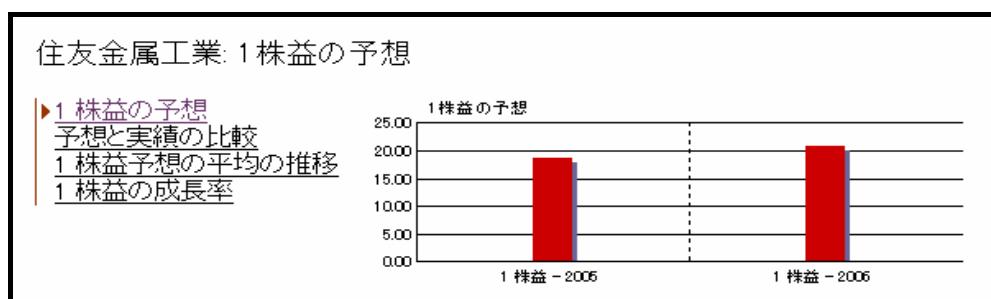
製品版では、常に最新のデータに自動更新されていますが、サンプルソフトは2005年2月末日までのデータになっています。また、「抽出銘柄」等の機能も利用することはできません。

〔銘柄情報について〕・・・ チャート画面から有益な情報を、直接見ることができます。

- * 買い出動を決断する際に、その銘柄の業績予想や材料など、様々な要素を判断材料としてチャート分析に加味すれば、投資の安全性や成功率は大幅に高まります。
- * そこで、「急騰予知Ⅱ」では、チャート画面から有力なウェブサイトに直接アクセスすることによって、有益な参考資料を簡単に入手できるようになっています。
- * 具体的な操作方法としては、画面にチャートが標示されている銘柄の当日の株価・企業概要・決算内容・最近のニュースや材料等・各種の銘柄ランキングを知りたい場合には、画面上部の「Web サイト(W)」をクリックし、「銘柄情報(B)」→「Nikkei Net」→「株価・基本情報」の順に選択すれば、有益な情報が得られます。



- * また、上図のような画面を表示中に、右上の「×」(上図には表示されていません)をクリックすれば、即座にチャート画面に戻りますので、極めて能率的です。
- * 業績(売上げ・一株利益)の予想を知りたい場合には、同じように「Web サイト(W)」→「銘柄情報(B)」→「MSN マネー」→「予想」の順に選択すれば、有益な情報が得られます。また、このサイトでも、「予想」のほかに「株価・基本情報」「企業情報」「財務情報」「銘柄ニュース」「レーティング」などを見ることができます。



[ステップトレード・ラインについて]

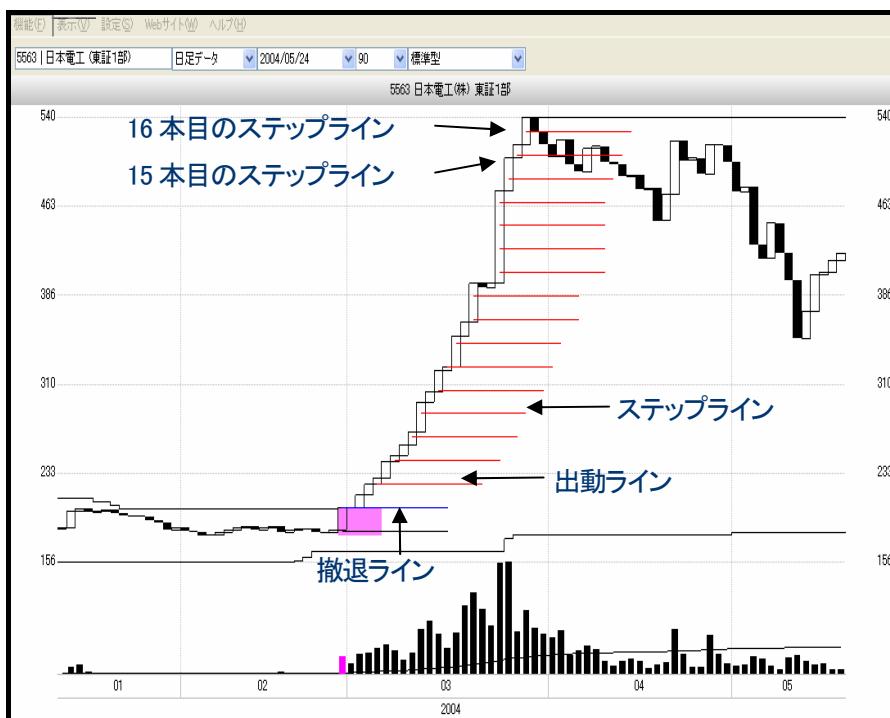
「ステップトレード・ライン」は、自分自身で撤退や利食いの基準を定めて、それをチャート上に表示して、売買の意思決定に役立てるためのものです。

例えば、この機能を下図のチャートで利用する場合には、まずチャート上の買いシグナルが出た日に十字線を合わせて、右クリックします。そして、表示された項目の中の「ステップトレード・ライン(S)」にポインター(矢印)を合わせた上で、次の「ここを買い出動ポイントにする(B)」をクリックします。

続いて表示された「撤退ポイント」のワク内には、御自身で適切だと思う損切り率の数値を入力します。そして、「ステップライン」のワク内に、御自身で適切だと思うステップ一段階の上昇率を入力します（この例では、いずれも10%に設定しました）。

すると、下図の図のようにチャート上に3種類の横線が表示されますが、それぞれの意味合いは次のとおりです。

合格日の終値水準には「出動ライン」が表示され、それよりも 10%下の水準に「撤退ライン」、10%上の水準から株価が上昇するにつれて、「ステップライン」が段階的に表示されていきます。



この場合、「撤退ライン」は損切りの目印、「ステップライン」は値上がり状況を視覚的に把握するためのものになります。また、上図で株価が 16 本目のステップラインを超えた後に、15 本目まで下げた局面は、売却を検討すべきところです。

なお、この「ステップトレード・ライン」は、カラ売り出動した場合にも使えます。